



学校教育目標
自分や相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

10月号

令和5年9月29日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



自分の気持ちで行動する

校長 中嶋 孝宏

いよいよ10月となりますが、いまだ暑さがこんなにも残っています。昨年同様、日本の四季のすばらしさの一つの秋の時期が短く、急に季節が変わらないか懸念しております。そのような中ですが、子どもたちも秋を感じ、楽しんでほしいと思います。

台風も発生しやすい時期となります。地域、保護者の皆様におかれましても普段からの準備や対策などされていると思います。先日の大雨警報時も大きな混乱なく子どもたちが過ごすことができました。ご協力ありがとうございます。

22日に行われた授業参観や懇談会等も多くの保護者に来ていただきありがとうございました。子どもたちの授業に取り組む姿を見ていただき嬉しく思います。

先日の下校時のことです。下校時に昇降口付近で転び、膝と肘を擦りむいた児童に対して消毒をしていると、「これをつけたほうがいいです。」と6年生の児童が自分の持っている絆創膏を傷口に丁寧に貼ってくれました。貼ってもらった児童は嬉しそうな顔をしていました。

また、高学年の学級での給食準備時間のワンシーンを紹介します。担任の先生の細かい指示がなくても給食当番を中心に自分の担当をしっかりと行っていました。例えば、おかずを盛る担当の人が皆に適量をお皿に盛り、盛られた人から「ありがとう。」と自然と感謝の言葉が出たり、バランスを崩して汁をこぼした人に、さっとハンカチやティッシュを持ち寄って拭いたりという姿を見て成長を感じるとともに嬉しい気持ちになりました。おかずを盛っている人が「でも、何杯も盛っているから手が痛いです。」と手を振っている姿には思わず笑みが出てしまいました。どの場面も自分の気持ちで動いた主体的な行動でした。

前期もあと2週間となりました。いよいよ前期のまとめの時期です。先日行われた本校の49周年の創立記念朝会では、「感動や達成は特別ではない日常の取組から生まれる」という話をしました。子どもたちは日々の地域やご家庭、学校活動の中で成長しています。引き続きどうぞよろしくをお願いします。

